

「主体的・対話的で深い学び」(アクティブ・ラーニング) には、ライオンズクエストがぴったり! vol.1



今話題の「主体的・対話的で深い学び」、いわゆるアクティブ・ラーニング。文部科学省の資料「アクティブ・ラーニングの視点と資質・能力に関する参考資料」(*注)で示されている「育成すべき資質・能力の三つの柱」と「アクティブ・ラーニングの視点からの不断の授業改善」は、ライオンズクエスト『ライフスキル教育』プログラムの中身や特徴にぴったりです!

(*注)文部科学省:平成28年2月24日教育課程部会 総則・評価特別部会資料2-2より抜粋

ライオンズクエストでは、

集団(学級などの教育現場)で学び、社会の一員として積極的にかかわることを支援します。各学年に「サービラーニング」をもうけ、ニーズに合った活動を計画・実行・振り返ることを練習します。

ライオンズクエストでは、

プログラムを通して、次の「9つの価値観」を身につけることを目指しています。
「親切・自己規律・正直・勇気・健康的なライフスタイル・責任感・ボランティア・家族との絆・自分や他者に対する敬意」

ライオンズクエストでは、

ライフスキルは、「生活の中で行動する能力」。日常生活によくある状況を想定し、実際に生活の中で「使える」ように学びます。また、これは「学力の基礎、学力と対」になる能力です。

ライオンズクエストでは、

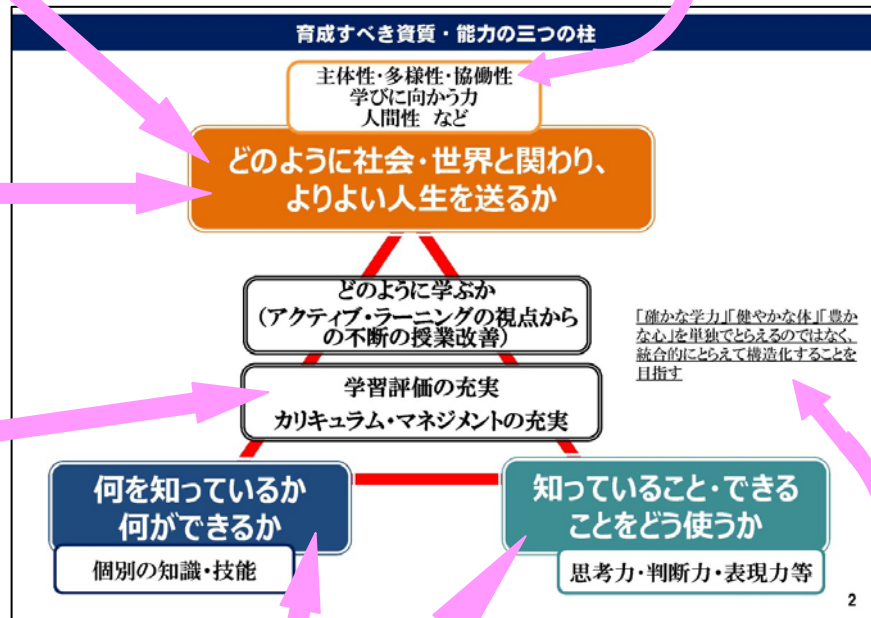
プログラム全体がしっかり組み立てられたカリキュラムになっており、各単元・各授業の目標がはっきりと示されています。そこから現場のニーズにあわせたカリキュラムを組むことができます。プログラム導入や授業実施、質問や相談にも随時対応しています。

ライオンズクエストでは、

授業展開は、必ず次の4段階。「やり方」がわかり、「できる」まで練習します。
[みつける] 子どもたちがもっている知識を確認する
[つなげる] もっている知識と新しい情報を結びつけ、やり方を説明する
[やってみる] 学んだスキルを練習する
[つかってみる] ふり返り、どう活かせるか考え、実際に使ってみる

ライオンズクエストでは、

特定の分野だけを学ぶのではなく、人々の基礎となる能力全般について学びます。自分自身、心や体のこと、他者との関係などが系統的に組み込まれています。単元名は次のページ参照。



ライオンズクエストでは、

ライフスキルを、「やり方を習得」し、「練習して活用できる」ようになります。また、授業は「日常生活を想定して探究できる」ように作られています。大小さまざまな困難に直面したとき、問題を明らかにして建設的に対処(解決)できる方法を、さまざまな視点から具体的に学びます。また、プログラムは授業を実施するだけでなく、「教育の基礎」として学校に取り入れることができます。あらゆる場面で大事な前向きで明るい発想が身につきます。

ライオンズクエストでは、

子どもたちが自ら参加する授業が展開できます。一方的に先生が話すのではありません。話し合い、表やポスターをつくるワーク、絵を描く、楽しいゲームなど、子どもたち自身の手で授業が進行していきます。また、与えられた答えを覚えるのではなく、自由に意見を述べ合い、全員が自分の考えを発表します。そして、一人ひとりが自分の答えを見つける力をつけていきます。

ライオンズクエストでは、

授業や活動の最後に必ず「ふり返り」を実施します。ふり返りも具体的なやり方で、練習します。次の3つに関する質問が各授業に入っています。ふり返りを行うことで、やりっぱなしにせず、学んだことが日常生活に結びつくようになります。

- 学習の要点: 何をした?
学びと発見: どう考えた? どう感じた?
活用/応用: どう活かせる?

アクティブ・ラーニングの視点からの不断の授業改善

- ① 習得・活用・探究という学習プロセスの中で、問題発見・解決を念頭に置き、**深い学びの過程**が実現できているかどうか。
- ② 他者との協働や外界との相互作用を通じて、自らの考えを広げ深める、**対話的な学びの過程**が実現できているかどうか。
- ③ 子供たちが見通しを持って粘り強く取り組み、自らの学習活動を振り返って次につなげる、**主体的な学びの過程**が実現できているかどうか。



【ライオンズクエストの教材】

<特徴>

- 未就学児から中学生まで、発達段階(9段階・学年)に合わせて選べる
- 指導者向けの授業展開のみならず、掲示物やワークシートも充実
- さまざまな課題やニーズに合わせて、実施内容を選択し、アレンジ可能
- 全ての教材資料は、スマホやタブレット、パソコンから利用できる電子版として提供

<単元構成と主に学ぶスキル>

- 単元1 明るく意欲な学習集団 …… 集団づくり、ルールづくり、グループ活動
- 単元2 個人的発達 …… 自信、責任、目標設定、感情のコントロール
- 単元3 社会的発達 …… 問題解決、友人関係、いじめ
- 単元4 健康と病気の予防 …… 健康習慣、薬物問題、プレッシャーへの対処
- 単元5 リーダーシップと奉仕活動・奉仕活動の計画から実行まで
- 単元6 ふり返りとまとめ …… 賞賛、ふり返り

【発行/問合せ】
特定非営利活動法人
青少年育成支援フォーラム(JIYD)
(ライオンズクエスト普及事務局)

〒108-0074
東京都港区高輪4-10-63-302
TEL 03-3440-3373
FAX 03-3440-4447
http://lionsquest-japan.org